

第 6 次宝塚市総合計画 概要版（案）

序論

1 総合計画とは

総合計画は、総合的かつ計画的にまちづくりを推進するための計画であり、市民と行政によるまちづくりの方向性を示すものです。「基本構想」「基本計画」「地域ごとのまちづくり計画」で構成されます。

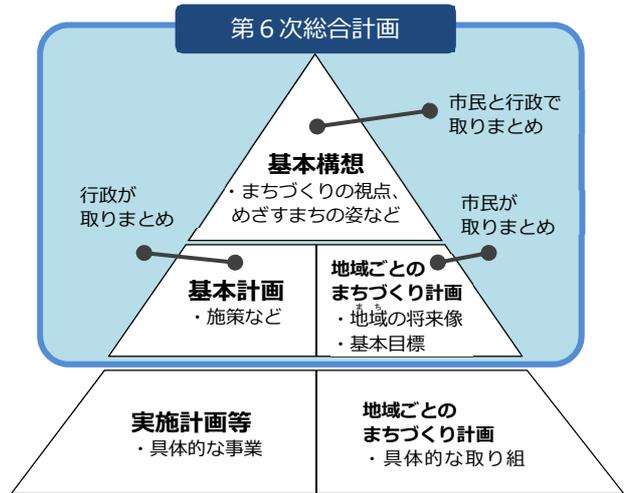
2 計画の期間

各計画の計画期間は、令和3年度（2021年度）から令和12年度（2030年度）までの10年間です。

※ ただし、「基本計画」については、社会情勢の変化などに応じて内容の見直しを行います。

ポイント

今回の第6次総合計画では、新たに「地域ごとのまちづくり計画」を総合計画に位置付けました。これにより地域課題や市民ニーズに応じた市民主体のまちづくりをさらに進めていきます。



※ 第5次総合計画では、実施計画も含めた3層構成としていましたが、わかりやすい2層構成としています。

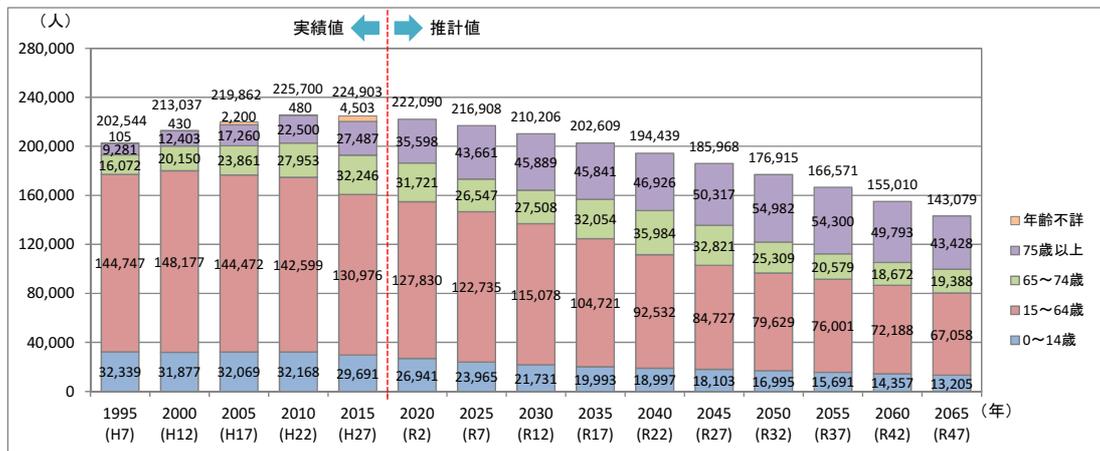
3 計画策定の背景

①人口減少・少子高齢化

本市の人口は、平成27年（2015年）国勢調査で減少に転じ、大きな転換点を迎えました。

人口減少や少子高齢化が進行すると、税収の減少や社会保障関連費用の増加が見込まれ、財政状況はより一層厳しさを増していくため、これまでの市民サービスの維持が困難となるおそれがあります。

◆宝塚市の年齢区分別人口の推移◆



②SDGs の取組の広がり

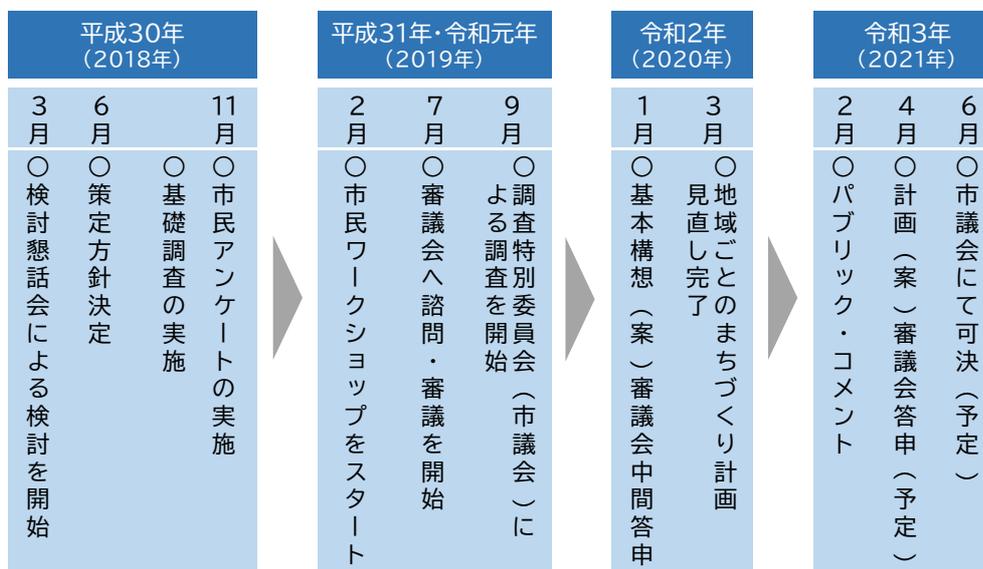
国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）は、17のゴールと169のターゲットで構成され、地球上の“誰一人取り残さない”社会の実現のため、世界各国で取組が進められています。

◆SDGsの17のゴール◆

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



4 計画策定の経過



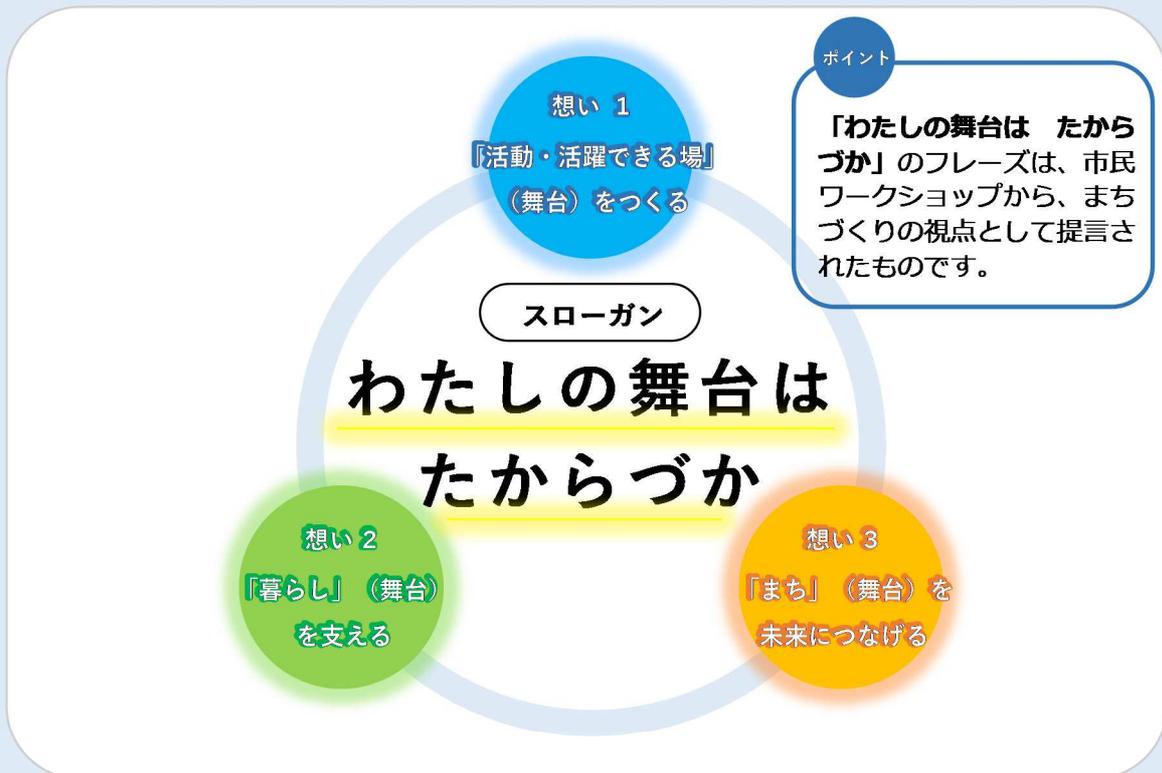
ポイント

本市の総合計画の策定において、初めて市民ワークショップを実施し、市民ワークショップから「めざすまちの姿」などの提言をいただくなど、市民との協働による計画づくりを進めています。

基本構想

これからのまちづくりを市民と行政がともに進めるに当たり、「わたしの舞台は たからづか」をスローガンに掲げます。

スローガンと込められた3つの想い



3つのまちづくりの視点

● 視点1 | 活動・活躍できる場があるまちづくり

- やりたいことに取り組める環境づくり
- 人のつながりづくり

● 視点2 | あらゆる人の暮らしを支え、誰もが幸せに住み続けられるまちづくり

- 人権の尊重と自分らしくいきいきと安心して住み続けられるまちづくり
- 「お互いさま」があふれるまちづくり

● 視点3 | 活力を創出し、将来を見据えた持続可能なまちづくり

- 宝塚らしい魅力を備えたまちのにぎわいの創出
- 特に子育て世代が住んでみたい、住み続けたいと思えるまちづくり
- 市民と行政が共に力を発揮する持続可能なまちづくり

6つのめざすまちの姿

5つの分野に共通するめざすまちの姿

● まちの姿（1） | 都市経営

共に創り、未来につなぐまち

ポイント

市民ワークショップ提言書や社会経済動向などの現状認識を踏まえて定めています。

5つの分野ごとのめざすまちの姿

● まちの姿（2） | 安全・都市基盤

住み続けたい、安全・快適な暮らしがあるまち

● まちの姿（3） | 健康・福祉

福祉が充実し、安心して暮らせるまち

● まちの姿（4） | 子ども・教育

子どもの生きる力が育つまち

● まちの姿（5） | 環境

豊かで美しい環境を育むまち

● まちの姿（6） | 観光・産業・文化

宝塚らしい“にぎわい”と芸術文化があふれる、創造性豊かなまち

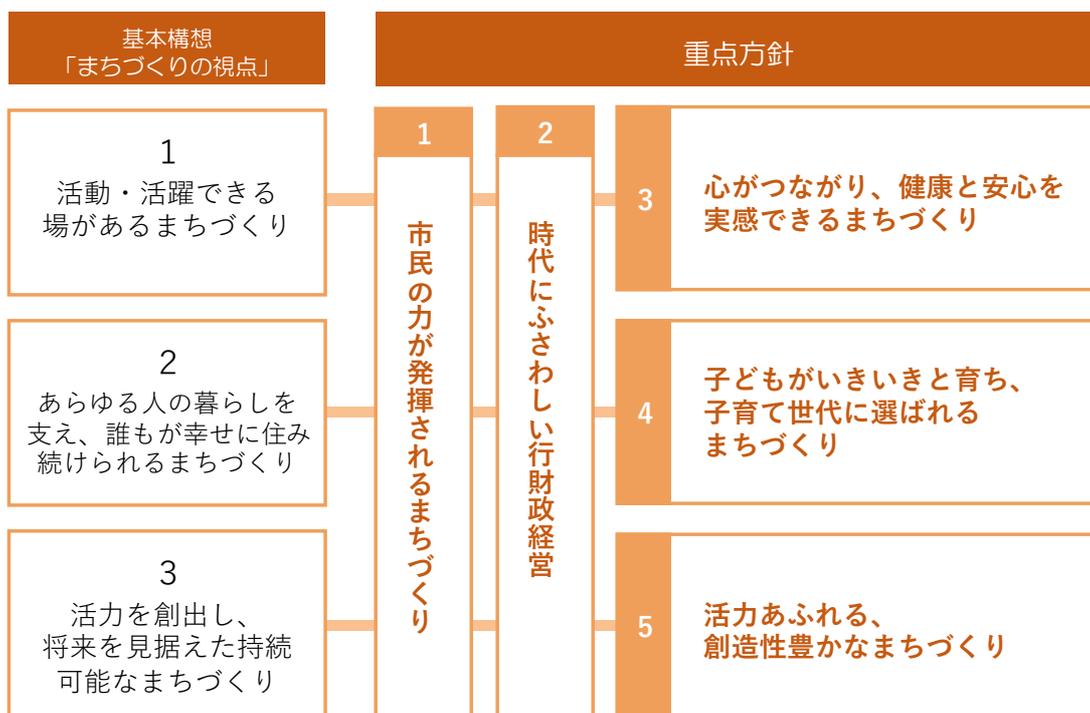
基本的な考え方

- ① 多様なライフスタイルの実現
- ② 「お互いさま」があふれるまちづくりの推進
- ③ 危機への対応
- ④ 時代にふさわしい市民サービスへの転換
- ⑤ SDGsの視点を意識した施策の推進

重点方針

ポイント

市民と行政で取りまとめた基本構想の「まちづくりの視点」をもとに重点方針を定めています。本方針を踏まえ、選択と集中による施策・事業展開を図ります。



施策分野の体系

【6つのめざすまちの姿】

1	共に創り、未来につなぐまち ～都市経営～
2	住み続けたい、 安全・快適な暮らしがあるまち ～安全・都市基盤～
3	福祉が充実し、 安心して暮らせるまち ～健康・福祉～
4	子どもの生きる力が育つまち ～子ども・教育～
5	豊かで美しい環境を育むまち ～環境～
6	宝塚らしい“にぎわい”と 文化芸術があふれる、 創造性豊かなまち ～観光・産業・文化～

【施策分野】

[1]市民自治・協働
[2]人権・男女共同参画
[3]開かれた市政
[4]情報化
[5]行財政経営
[1]危機管理・防災・消防
[2]防犯・交通安全
[3]消費生活
[4]土地利用
[5]住宅・住環境
[6]道路・交通
[7]河川・水辺空間
[8]上下水道
[1]健康・医療
[2]地域福祉
[3]高齢者福祉
[4]障害者福祉
[5]社会保障
[1]児童福祉・青少年育成
[2]学校教育
[3]社会教育
[1]都市景観
[2]緑化・公園
[3]環境保全
[4]循環型社会
[5]都市美化・環境衛生
[1]観光
[2]商工業
[3]農業
[4]雇用・労働環境
[5]文化・国際交流

地域ごとのまちづくり計画

1 「地域ごとのまちづくり計画」とは

市内に 20 あるすべてのまちづくり協議会において、市民自らが地域の現状や課題、ニーズを踏まえ、将来像を描き共有しながら、基本目標や具体的な取り組み等を取りまとめています。

ポイント

第6次総合計画では、この「地域ごとのまちづくり計画」中の「^{まち}地域の将来像」と「基本目標」を、新たに総合計画に位置付けています。

2 計画策定の経過

各まちづくり協議会は、見直しのための会議を行い、話し合いを重ねてきました。広く意見を聴くためのアンケートの実施や意見交換会の開催などの取組を展開しました。

市職員も、見直しのための会議に出席し、助言を行うとともに、関係部署との調整を行いました。

まちづくり協議会

- [1] 仁川まちづくり協議会
- [2] 宝塚市高司小学校区まちづくり協議会
- [3] 宝塚市良元地区まちづくり協議会
- [4] 宝塚市光明地域まちづくり協議会
- [5] 宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会
- [6] 宝塚市西山まちづくり協議会
- [7] まちづくり協議会コミュニティ末広
- [8] 宝塚第一小学校区まちづくり協議会
- [9] 逆瀬台小学校区まちづくり協議会
- [10] 宝塚すみれガ丘小学校区まちづくり協議会
- [11] 宝塚小学校区まちづくり協議会
- [12] 売布小学校区まちづくり協議会
- [13] 小浜小学校区まちづくり協議会
- [14] 宝塚市美座地域まちづくり協議会
- [15] 安倉地区まちづくり協議会
- [16] 宝塚市長尾地区まちづくり協議会
- [17] 中山台コミュニティ
- [18] 宝塚市山本山手地区まちづくり協議会
- [19] 宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会
- [20] 宝塚市西谷地区まちづくり協議会

まちづくり協議会の区域

